

CMソングは「山下達郎」さん

新CM『一生つづく自信』篇

TBCグループ株式会社(本社:東京都新宿区)は、運営するエステティックブランド『エステティックTBC』の新TVCMを2021年11月13日(土)よりオンエアいたします。今回のCMソングは、世に数々の名曲を生み出した、シンガーソングライター「山下達郎」さんに書き下ろしていただいた楽曲です。当社のCMに山下達郎さんの楽曲を使用させていただくのは1993年から3年間にわたってオンエアされた「クリスマスなんて大嫌い」篇での楽曲/「クリスマス・イブ」以来となり26年ぶりです。広告キャラクターである「ローラ」さんが、雄大な自然の中で魅せる美しさと共に注目ください。



新CM内容

女性にとって肌とは、毎日向き合い、一生にわたって喜びや悲しみを分かち合う大切なもの。肌が健やかで、美しく滑らかなら、自信を持って一步踏み出すことができます。このCMは、「終わりのある*脱毛」を提唱するTBCから、今を生きるすべての方たちへの応援メッセージです。

* TBCの脱毛法「TBCスーパー脱毛」を一定期間、継続的に受けた場合の効果です。コース効果及び脱毛が終了するまでの回数等は個人差があります。

新CM概要

- 【 CMタイトル 】 『一生つづく自信』篇
- 【 出演者 】 ローラ
- 【 オンエア期間 】 2021年11月13日(土)～
- 【 オンエア地域 】 全国

楽曲

【 使用曲 】 Shining From The Inside

【 作曲・歌 】 山下達郎

【 作詞 】 nana hatori

山下達郎さんよりコメント

TBCの方々とは、もうずいぶん長いお付き合いですが、久しぶりにTVCMを担当させていただく中で、制作現場が大幅に若返っていることに、時の流れを実感しました。

今回の作品はTBCからのメッセージを視聴者へしっかりお伝えしたいという気持ちに応え、英語詞で、アカペラ仕立てで、とのオーダーでしたので、ならば作詞も若い才能にお願いしようと思い、nana hatoriさんから素晴らしいリリックスを届けていただきました。

日々変化をとげて行く時代の中で、変わるもの、変わらないもの、双方への想いを、この曲に込めました。

人間の本当の美しさは年齢や造作を越えた所にあります。
キレイになるにはまず内側から。
まさに“Shining From The Inside”です。

TBCのCM制作よりコメント

今回山下達郎さんの楽曲に出会い、時が過ぎても変わらない美しさがあることを改めて感じました。今回の撮影は、カリフォルニア州のエル・ミラージュ湖で行いました。監督が日本からリモートでディレクションを行うなど、通常とは異なる方法で行うため困難な部分もありました。しかし、それぞれの場所からあらゆる知恵を絞ってパフォーマンスを出し切った結果、壮大な自然と曲がマッチして、より深みのある作品に仕上がったと思います。

山下達郎 Profile

1953年東京都出身。

1975年、シュガー・ベイブとしてシングル「DOWN TOWN」、アルバム『SONGS』でデビュー。

2015年「平成26年度(第65回)芸術選奨文部科学大臣賞(大衆芸能部門)」に選出。2016年には、1986年から続く「クリスマス・イブ」30年連続オリコン週間シングルランキング100位入りという記録が、ギネス世界記録に認定。CMタイアップ楽曲の制作や他アーティストへの楽曲提供など、幅広い活動を続けている。

nana hatori Profile

日本生まれ、アメリカ育ち。

5歳～23歳までロス、シアトル、ニューヨークで生活しておりネイティブな発音と英語力を持っている。

大学を卒業後、単身帰国して音楽活動を開始。帰国して間もなく、作曲家Carlos K.と出会い、共に様々なアーティストの作詞作曲や英語ディレクション、コーラスや仮歌を務めるようになる。2018年よりロックバンド「SLEEPLESS SLEEP」のボーカルとしても活動中。

カット紹介 『一生つづく自信』篇(15秒)

Na(ナレーション)

①



④



幸せにすることができる

②



肌は、

⑤



一生つづく自信を。

TBC

③



わたしを

CMはこちらから

『一生つづく自信』篇 15秒 : https://youtu.be/ko_2UZL_yQI

『一生つづく自信』篇 30秒 : <https://youtu.be/UvKu8gSv6qw>

ROLA Profile

1990年3月30日生まれ。

個性あふれるスタイルで国内外を問わず活躍。あらゆるファッション誌のカヴァーを飾り、様々な表情でファンを楽しませている。

また、自身のファッションセンス・セルフプロデュースも業界から評価が高く、今後の動向がさらに注目される女性である。